

ベンリーS 施工要領書

二瀬窯業株式会社



【補修前の欠損状態】

【ベンリーSの練り混ぜ】

- ①ベンリーSを容器に入れ、水を加える
- ②練り混ぜ水は、ベンリーの軟らかさが耳たぶ程度になるように加減してください

※ベンリーSと水量の比は28～30%



【下ごすり】

- ①ベンリーSを欠損部に薄く塗りつけてください。

※最初にベンリーSを薄く塗ることで、塗付け面にエア巻き込みがへり、確実な接着が出来ます。



【塗付け】

- ①下ごすり後直ちに、ベンリーSを仕上げたい形より大きめに塗りつけてください。

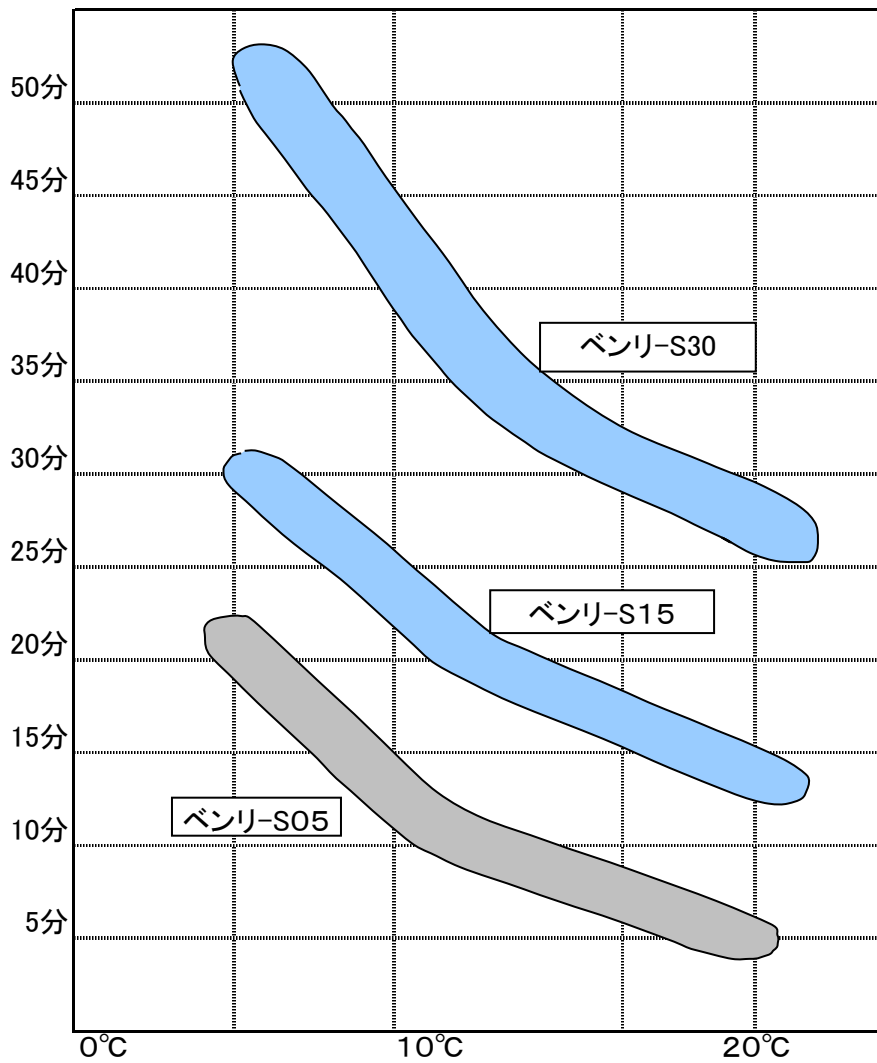
※コテ等で削る分を少し余分に盛るように
※大きい欠損の場合は、塗付けを2度に付けてください。



【硬化待ち】

- ①ベンリー-Sを塗付け後、コテで削れる硬さになるまで、待ってください。
- ②他の個所に塗付けている間に、徐々に硬くなります。
- ③塗付けてから削りだし開始までの時間(目安)は下表を参考にしてください

ベンリー-Sを塗付けたから削りだし開始までの時間(目安)





【削り仕上げ その1】

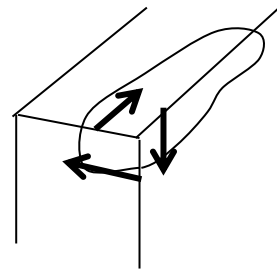
- ①ベンリ-Sが削れる硬さになったら、削り始めてください
※削り始めの目安は、塗付けたベンリ-Sを指で押して凹まず、爪跡が少し付く程度

- ②削りは、果物などの皮をを剥くように少しずつ、薄く削ってください。
※慣れると削りも早くなります。



【削り仕上げ その2】

- ③角の部分は削り方向を矢印の方向にしてください。(かける場合があります)



【削り仕上げ完了】

削りこてを使用する場合の注意

- ①コテは使い込んで、コテが包丁のように尖っていると、削り面もきれいにできます
②コテが新しいと削り難く、削り面がカタガタになり易いので注意してください。

【強度試験データ】

1. 圧縮強度試験

単位：N/mm²

	NO1	NO2	NO3	NO4	NO5	NO6	平均値
材齢3日	23.1	24.2	24.5	23.5	23.0	24.8	23.9
材齢7日	28.5	31.2	28.2	29.4	30.1	29.1	29.4
材齢28日	42.4	45.0	39.4	42.1	41.6	39.5	41.7

※混練時の粉体水比=30%

※試験方法はJIS A1171に準じた。

2. 接着強度試験

単位：N/mm²

	NO1	NO2	NO3	NO4	平均値
材齢3日	1.55	1.04	1.11	1.15	1.21
材齢7日	1.25	1.26	1.54	1.36	1.35
材齢28日	1.46	1.79	1.45	1.31	1.50

※混練時の粉体水比=30%

※接着強度試験の被着体はコンクリート歩道塊(300×300mm)